

## 2.

### 農業・都市農村交流特区



#### ●小豆島・内海町オリーブ振興特区【香川県内海町】

加工サイドの企業自らが町内の遊休農地でオリーブの栽培に取り組むことで、小豆島産オリーブの実、葉等の生産から加工までを一体的に行う新しいビジネスの創出と遊休農地の有効活用を図る。

(農地貸し付け方式による株式会社等の農業経営への参入)

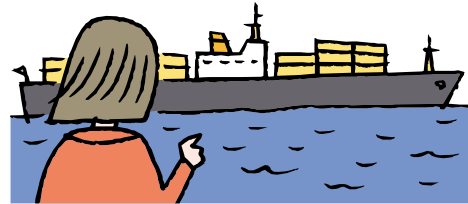
→ 平成20年までに約6haの遊休農地解消、生産・加工・観光合わせて4億円の経済効果

## 3.

### 国際物流関係特区

#### ●北九州市国際物流特区【福岡県北九州市】

環黄海における地理的優位性を活かし、響灘地区コンテナターミナルの完成等とあいまって、アジアにおける戦略的な産業立地環境を提供する。  
(臨時開庁手数料の軽減、税関の執務時間外における通関体制の整備、電力の特定供給事業の許可対象の拡大等)



→ ・累積新規企業立地:28社(平成19年)→ 35社(平成24年)  
・年間経済効果:約2,400億円(平成19年)→ 4,100億円(平成24年)  
・雇用創出:約5,600人(平成19年)→ 10,800人(平成24年)

## 4.

### 産業活性化関係特区

#### ●技術集積活用型産業再生特区【三重県、四日市市、四日市港湾管理組合】

保安関係の規制の特例等を導入することにより、今まで蓄積してきた技術、人材、インフラ、産業集積等を活用して、石油精製・石油化学産業のコンビナートを高付加価値型の国際競争力のある産業集積地域へと再生を図る。

(石油コンビナート施設のレイアウト規制の緩和、家庭用燃料電池の一般電気工作物への位置付け等)

→ ・5年間の設備投資額約700億円  
・増加生産額約400億円(平成19年)  
・雇用創出約300人(平成19年)

